

産地競争力の強化

(都道府県名:北海道)

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

※については目標未達成事業についてのみ記載した。

支庁名	市町村名	事業実施主体名	作物等区分 (対象作物・畜産等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費(円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価(※)	都道府県の評価(※)
						計画時 (平成19年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)	目標値 (平成22年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他			
石狩	恵庭市	道央農業協同組合	輸入急増野菜(にんじん)	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	【輸入急増野菜】 (労働時間の削減に関する目標) ・単位面積当たりの労働時間を30.3%削減	35.9hr/10a	35.9hr/10a	27.9hr/10a	24.9hr/10a	25.0hr/10a	100.9%	単位当たりの労働時間が30.6%削減した	にんじん収穫機 2台	29,190,000	13,622,000	0	0	15,568,000	H21.3.31	大型収穫機の導入による労働時間の短縮については、目標を達成することができ、収穫期の稼働率についても目標を達成することができた。また、共同収穫体系への移行に伴う新たな栽培技術の取得と高位平準化への取り組みも一定の成果をあげてきた。 エコファーマー認証については、取得に向けて申請を進めてきたが、申請の時期と認証の時期の関係から、年度内の認証取得に間に合わなかった者、新たに正惨害に遭い、加わり申請が遅れている者もあり、22年度中の目標達成には至らなかった(達成率71.8%)が、平成23年度中に目標達成を目指す、取組みを進める。	大型収穫機の導入により、共同収穫体系へ移行し、大幅な労働時間の短縮が図られた。 また、生産者に対する栽培技術講習会の開催だけでなく、共選に携わる人たちへの講習を行うなど生産から出荷まで一貫した取り組みも行われている。 エコファーマー認証については、市、農協及び普及センターで春先に打合せを行い、未拾得者も申請準備を進めているところであり、23年度中には目標達成が見込まれる。
石狩	新篠津村	新篠津村農業協同組合	土地利用型作物(麦)	品質向上	【土地利用型作物(麦)】 (新品種の作付面積の増加に関する目標) ・麦の新品種(キタノカオリ、春よ恋、きたほなみ)の作付面積を123%増加	138.9ha	69.4ha	169.9ha	502.6ha	310.0ha	212.6%	新品種の作付面積が363.7ha増加した	小麦サイロ 500t×6基	317,100,000	150,720,000	0	0	166,380,000	H20.8.10		
石狩	当別町	北石狩農業協同組合	国産原材料供給円滑化対策	品質向上	【国産原材料供給円滑化対策(麦の乾燥調製体制の緊急整備)】 (品質の向上に関する目標) ・契約生産奨励金のAランクの評価数量の割合が事業開始年の前年(前5カ年中3カ年平均又は前3カ年平均)の割合を上回る。	100%	-	100.00%	100.00%	100%	100.0%	契約生産奨励金のAランクの評価数量の割合が100%となった	穀類乾燥調製貯蔵施設 小麦サイロ 4基	378,000,000	180,000,000	0	0	198,000,000	H21.9.25		
石狩	当別町	川下共同機械利用組合	土地利用型作物(麦)	品質向上	【土地利用型作物(麦)】 (新品種の作付面積の増加に関する目標) ・新たに麦の新品種(きたほなみ)を導入し、全体に占める割合を10%確保	0%	0.00%	7.91%	35.29%	10%	352.9%	全作付面積に対する新品種の作付面積が35.3ポイント増加した	小麦乾燥調製施設 1棟 108.54㎡	75,705,000	37,588,000	0	0	38,117,000	H20.11.14		
渡島	北斗市	北斗市	輸入急増野菜(トマト)	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	【輸入急増野菜】 (出荷規格の向上に関する目標) ・全出荷量に占める秀品割合を15.6ポイント増加	31.1%	-	31.3%	35.0%	46.7%	25.0%	製品全出荷量に占める秀品の割合が3.9ポイント増加した	原料製品荷捌作業棟 1棟 トマト選別設備一式	341,503,050	170,751,000	8,100,000	452,050	162,200,000	H21.9.10	出荷規格の向上については、本施設が平成22年度からの本格稼働ということもあり、前年より3.7%増加したが、高温障害の多発等により秀品率が35.0%と目標の達成には至らなかった。 契約取引の推進については、作付面積の確保は確保したものの、高温の影響により、生産量は前年作の約8割と少なかったことや全国的な市場価格の高騰など、厳しい販売環境であったが、実需者、市場への周知活動の取組により、契約取引割合18.1%と前年より7.3%増加したが目標達成には至らなかった。 今後とも関係機関と連携を図りながら、栽培技術の向上に向けた栽培技術講習会などの徹底や、更なる実需者市場への積極的な周知活動を実施し、目標達成に向け全力で取り組んでいく。	平成21年度から成果目標ポイントは増加したものの、いずれも目標値は下回っている。 要因は、6月以降の高温による高温障害の発生や害虫の多発により秀品の確保が困難になったこと、また、地域全体の出荷量全体が減少したこと及び全国的なトマトの品薄傾向に起因する市場価格の高騰により、産地における契約取引数量の確保が困難となったことなどによる。 自然条件や全国的なトマト生産動向が主たる要因であるものの、北斗市野菜生産出荷組合トマト部会活動における生産技術の向上や指導の徹底、実需者への周知各同等による新規取引先の拡大などの改善策に取り組むこととしており、成果目標の達成は可能であると見込まれる。
後志	倶知安町 雄勝町 二子町 真狩村 留寿都村 喜茂別町 京極町	ようてい農業協同組合	国産原材料供給円滑化対策	品質向上	【国産原材料供給円滑化対策(麦の乾燥調製体制の緊急整備)】 (新品種の作付面積の増加に関する目標) ・事業実施地区における麦の新品種の作付面積を2%以上増加。	0%	-	-	28.0%	25.0%	112.0%	新品種の作付面積が28ポイント増加した	乾燥調製施設 麦・大豆乾燥調製施設 1棟 大豆乾燥施設 1棟 計量・自主検査施設 1棟	2,076,129,300	988,633,000	0	0	1,087,496,300	H22.2.1	収穫時期後半の周期的な降雨・降雪の影響により過去に経験のないほどの作業の遅れと上位等級比率の低下(72.4%→5.6%)となったが、施設を増設したことにより、品質に応じた原料仕分けをより細かく適切に行なったことから、品質低下による調製作業ロス・生産者所得の減少を最小限に抑えることができた。 また、既存施設のみでは、本年の天候条件には対応しきれなかったことが想定され、事業の効果として生産者の理解も十分得られたと感じている。	成果目標について、小麦については種子の確保により目標値を達成。大豆については10月下旬以降からの周期的な降雨・降雪により、適期収穫ができなかったこと高水分収穫(子実水分20%以上(通常18%以下))の影響から扁平粒等の被害粒により、製品歩留まり・品質が低下し上位等級比率が目標値を下回り未達成となった。 大豆の結果は、天候条件の影響が大きく出ていると感じられるが、このような状況であっても、高品質・高い製品歩留まりによる上位等級比率の向上を図ることが重要であるため、次年度以降、事業実施主体における改善状況を含め確認を実施する。
後志	岩内町	岩内水稲生産組合	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(穀物乾燥調製施設)】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を24.3%削減	21.8l/t	-	21.0l/t	12.9l/t	16.5l/t	167.9%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が40.8%削減した	遠赤外線乾燥機 5t×3基	11,135,250	5,456,000	0	0	5,679,250	H21.3.27		
後志	共和町	下梨一宮農機利用組合	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(穀物乾燥調製施設)】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を26.5%削減	17.7l/t	-	18.9l/t	10.1l/t	13.0l/t	161.7%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が42.9%削減した	遠赤外線乾燥機 5t×3基	10,891,650	5,337,000	0	0	5,554,650	H21.3.30		
後志	共和町	発足第一ライスセンター利用組合	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(穀物乾燥調製施設)】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を20%以上削減	23.5l/t	-	27.6l/t	16.1l/t	16.9l/t	112.1%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が31.4%削減した	遠赤外線乾燥機 5t×5基	14,631,750	7,169,000	0	0	7,462,750	H21.3.30		

産地競争力の強化

(都道府県名:北海道)

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

※については目標未達成事業についてのみ記載した。

支庁名	市町村名	事業実施主体名	作物等区分 (対象作物・畜産等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況					成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費(円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価(※)	都道府県の評価(※)	
						計画時 (平成19年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)	目標値 (平成22年)				達成率	交付金	都道府県費	市町村費				その他
後志	共和町	発足第二ライスセンター利用組合	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(穀物乾燥調製施設)】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を20%以上削減	22.7l/t	-	25.0l/t	16.4l/t	17.2l/t	114.5%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が27.7%削減した	遠赤外線乾燥機 5t × 4基	10,164,000	5,082,000	0	0	5,082,000	H21.3.30		
後志	共和町	発足米麦乾燥施設利用組合	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(穀物乾燥調製施設)】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を20%以上削減	23.5l/t	-	23.9l/t	12.9l/t	17.8l/t	186.0%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が45.1%削減した	遠赤外線乾燥機 5t × 6基	15,590,000	7,795,000	0	0	7,795,000	H21.3.30		
後志	共和町	リヤムナイ地区機械施設利用組合	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(穀物乾燥調製施設)】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を20%以上削減	23.4l/t	-	25.7l/t	16.6l/t	17.4l/t	113.3%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が29.0%削減した	遠赤外線乾燥機 5t × 10基	30,628,500	15,008,000	0	0	15,620,500	H21.3.30		
空知	南幌町	(株)アシル	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(農業機械等(穀物乾燥調製施設))】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を20%以上削減	21.91l/t	-	15.10l/t	14.44l/t	16.90l/t	149.1%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が7.47l/t削減した	穀物乾燥調製施設 遠赤外線乾燥機 8t × 5基	16,685,000	7,945,000	0	0	8,740,000	H21.4.24		
空知	南幌町	(有)NOAH	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(農業機械等(水稲直播機))】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を12%以上削減	1.79l/10a	-	0.76l/10a	0.78l/10a	1.08l/10a	142.3%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が1.01l/t削減した	水稲直播機 1台	3,990,000	1,900,000	0	0	2,090,000	H21.4.22		
空知	秩父別町	(農)サウスフィールド	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(農業機械等(汎用コンバイン))】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を14%以上削減	3.34l/10a	-	3.01l/10a	1.83l/10a	2.60l/10a	204.1%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が1.51l/t削減した	汎用コンバイン 1台	14,595,000	4,633,000	0	0	9,962,000	H21.4.30		
空知	月形町	(有)フューチャー	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(農業機械等(穀物乾燥調製施設))】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を20%以上削減	22.6l/t	-	19.6l/t	17.4l/t	17.6l/t	103.8%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が5.19l/t削減した	穀物乾燥調製施設 遠赤外線乾燥機 8t × 3基	11,601,450	5,524,500	0	0	6,076,950	H21.4.30		
空知	岩見沢市	豊正水稲乾田直播組合	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(水稲直播機)】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を12%以上削減	1.79l/10a	-	1.76l/10a	2.00l/10a	1.40l/10a	-53.8%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が0.21l/t増加した	水稲直播機 1台	4,305,000	2,112,000	0	0	2,193,000	H21.3.10	乾田直播は春先の天候の要因により、短期間に播種作業を実施することから、燃油の削減及び労働時間の削減が低調になる傾向がある。今後更なるほ場管理の励行と直播技術の向上に努め燃油及び労働時間の削減を図る。	天候等の影響により、成果目標(燃油使用量の削減)は達成できなかったことから、直播技術の向上を図る等、次年度以降目標達成できるよう指導していく。
空知	岩見沢市	豊正水稲湛水直播組合	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(水稲直播機)】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を12%以上削減	1.79l/10a	-	1.09l/10a	1.08l/10a	1.08l/10a	100.0%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が0.71l/t削減した	水稲直播機 1台	4,567,500	2,241,000	0	0	2,326,500	H21.3.10		
空知	岩見沢市	ほろいち農事生産組合	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(田植機)】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を22%以上削減	1.12l/10a	-	0.80l/10a	0.78l/10a	0.86l/10a	130.8%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が0.34l/t削減した	省エネ機能付き田植機 2台	9,161,250	2,994,000	0	0	6,167,250	H21.3.10	ほ場の乾田化を図るためのほ場管理の励行及び省エネを実施するための機械効率を向上させる操作の励行により燃油の削減が図られた。	成果目標(労働時間の抑制)は達成できなかったことから、効率的な作業体系の確立や作付面積の確保など、次年度以降目標達成できるよう適切に指導していく。
空知	岩見沢市	(有)砂浜ファームサービス21	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(穀物乾燥調製施設)】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を20%以上削減	18.60l/10a	-	12.15l/10a	5.00l/10a	14.10l/t	302.2%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が13.6l/t削減した	遠赤外線乾燥機 6.5t × 1基 汎用コンバイン 1台	15,902,250	5,586,000	0	0	10,316,250	H21.3.10		
空知	美唄市	峰延農業協同組合	国産原材料供給円滑化対策	品質向上	【国産原材料供給円滑化対策(麦の乾燥調製体制の緊急整備)】 (品質の向上に関する目標) ・契約生産奨励金のAランクの評価数量の割合が事業開始年の前年(前5カ年中3カ年平均又は前3カ年平均)の割合を上回る。	85.9%	-	59.2%	97.4%	90.0%	108.2%	Aランクの割合が11.5ポイント増加した	小麦調製ライン一式	227,640,000	108,400,000	0	0	119,240,000	H21.3.23		

産地競争力の強化

(都道府県名:北海道)

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

※については目標未達成事業についてのみ記載した。

支庁名	市町村名	事業実施主体名	作物等区分 (対象作物・畜産等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況					成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費(円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価(※)	都道府県の評価(※)	
						計画時 (平成19年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)	目標値 (平成22年)				達成率	交付金	都道府県費	市町村費				その他
空知	北竜町	小豆沢ライスセンター	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(穀物乾燥調製施設)】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を20%以上削減	39.70l/t	-	55.90l/t	27.40l/t	31.30l/t	146.4%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が12.3l/t削減した	遠赤外線乾燥機 5t × 5基	13,855,800	6,927,000	0	0	6,928,800	H21.3.6	目標削減率達成のため、刈り取り時期などを構成員で協議し、雨天後の刈り取りを避けるなど意識しながら取組をすることができた。しかし、天候により目標が達成できない年もあるため、今後も目標削減率達成のため、充分に注意をはらっていききたい。また、労働時間軽減についても達成できるよう最善を尽くしていきたい。	燃油使用量の削減は達成できたが労働時間の削減については達成できなかったことから、次年度以降は目標達成できるよう適期刈り取りや輪作体系に基づく作付面積の確保を図るなど適切に指導していくとともに、安定収量確保に努め、利用率の向上を図るよう指導していく。
上川	美瑛町	美瑛町農業協同組合	畑作物・地域特産物(ばれいしょ)	需要に応じた生産量の確保	【畑作物・地域特産物(ばれいしょ)】 (契約取引に関する目標) ・全出荷量のうち契約取引の割合を5ポイント以上増加	72.7%	73.3%	70.4%	91.4%	93.6%	89.5%	全出荷量のうち契約取引の割合が18.7ポイント増加した	集出荷貯蔵施設 馬鈴しょ低温貯蔵施設 1棟	765,883,020	364,706,000	0	0	401,177,020	H21.10.26	低温集出荷貯蔵施設の新設により作付面積の増加が図られ、生産量も増加し安定的な製品の供給が図られた。 低温集出荷貯蔵施設の新設により品質保持および産地長期保管が拡充されたことから、新たな契約販売先獲得することが出来た。 今後の作付増加は、美瑛町・美瑛町農業協同組合による施策等の作付誘導及び品質向上による契約取引の増加に期待する。	契約取引の割合は91.4%と順調に増やし、概ね目標に達したが、農協販売金額については平成22年の天候不順等により681,514千円と目標の998,080千円と比較して大きく減収し、計画を達成することができなかった。
上川	上富良野町 中富良野町 富良野市 南富良野町	ふらの農業協同組合	畑作物・地域特産物(ばれいしょ)	品質向上	【畑作物・地域特産物(ばれいしょ)】 (高品質品種の導入等に関する目標) ・従来品種と異なる高品質品種の作付面積を5%以上増加。	103ha	106.3ha	81.8ha	118.9ha	139ha	44.2%	従来品種と異なる高品質品種の作付面積が15.4%増加した	共同利用機械 ポテトランター 3台 ポテトハーベスター 5台	46,407,900	14,732,000	0	0	31,675,900	H21.9.18	ポテトランター・ポテトハーベスターの導入により、加工馬鈴薯の生産体制を整え、生産者、JA及び関係機関が一丸となった啓蒙推進、講習会等の開催により加工馬鈴薯を増産することが出来た。 また、馬鈴薯加工施設の整備を実施し、価格の安定が図られた為、農家経済を向上し安定することが出来た。 しかし、従来品種と異なる高品質品種のオホーツクチップ、スノーデンについては、加工特性が良く、生産者の生産意欲も高いが、種子馬鈴薯の供給が追いつかず、現在目標を達成していないが種子馬鈴薯供給増に伴い増加している。 今後は、原原種の供給要請を含め、供給体制を推進する。	ばれいしょ生産数量は25,979tと目標の14,551tを大幅に超えたが、従来品種と異なる高品質品種(スノーデン、さやか、十勝こがね、オホーツクチップ)の作付割合が118.9haと目標の139haを下回ってしまった。 このことについては、JA等が行う啓蒙推進により作付品種の誘導を期待したい。
上川	愛別町	(農)伏古生産組合	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(穀物乾燥調製施設)】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を20%以上削減	18.50l/t	-	19.80l/t	15.20l/t	14.80l/t	89.2%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が17.8%削減した	遠赤外線乾燥機 7t × 5基、6t × 2基	27,825,000	13,250,000	0	0	14,575,000	H21.3.31	今年は、天候の影響で収量が例年に比べ大幅に少なく、計画していた処理量には達しなかった。収穫時期には好天に恵まれ、適期刈り取りを実践することができた。受入水分についても平均して23%程度であったが、ほ場の条件により若干のばらつきが見られた。これによって燃油量については目標の14.8l/tには届かなかったが、15.2l/tと89.2%の達成率であった。 今後も引き続き適期刈り取りの実施に努め、燃油削減の達成に向けて努めていきたい。	乾燥作業については、天候等に大きく左右される事項であるが、穀粒水分が高いまま作業を行った昨年度を教訓に適切な作業時期を見極めることにより、燃油使用量の削減に取り組んでおり、引き続き目標達成に向けて取り組まれることを期待する。
上川	愛別町	愛別雑穀組合	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(汎用コンバイン)】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を14%以上削減	3.58l/10a	-	2.92l/10a	2.96l/10a	3.03l/10a	112.7%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が17.3%削減した	汎用コンバイン 1台	13,440,000	4,480,000	0	0	8,960,000	H21.3.31		
上川	上川町	越路粉乾燥利用組合	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(穀物乾燥調製施設)】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を20%以上削減	25.20l/t	-	24.29l/t	21.65l/t	20.10l/t	69.6%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が14.08%削減した	遠赤外線乾燥機 5t × 8基	24,465,000	12,232,000	0	0	12,233,000	H21.3.18	本事業により導入した「遠赤外線乾燥機」の稼働により燃料の消費量を14.08%削減することができたが、目標達成は困難であった。 今後は、適期刈り取りの徹底、効率的な乾燥利用を行い、省エネ利用マニュアルを現実化しながら更なる使用燃料低減を図っていききたい。	成果目標である「当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を20%以上削減」については、面積増や天候等の影響もあったため、目標数値には届かなかったものの、その原因と要因が明確にされていることを、今後への課題を解決することにより成果目標が十分に達成できるものと判断できる。
上川	鷹栖町	共栄第1機械利用生産組合	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(穀物乾燥調製施設)】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を20%以上削減	26.50l/t	-	31.30l/t	18.30l/t	20.90l/t	146.4%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が30.9%削減した	遠赤外線乾燥機 6t × 4基	17,640,000	8,747,000	0	0	8,893,000	H21.3.31		
上川	鷹栖町	聖和ライスセンター	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(穀物乾燥調製施設)】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を20%以上削減	28.00l/t	-	27.80l/t	13.20l/t	21.90l/t	242.6%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が52.8%削減した	遠赤外線乾燥機 8t × 7基	22,711,500	11,355,000	0	0	11,356,500	H21.3.31		
上川	鷹栖町	第18機械共同利用組合	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(田植機)】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を22%以上削減	1.46l/10a	-	1.09l/10a	1.10l/10a	1.10l/10a	100%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が24.6%削減した	省エネ機構付き田植機 1台	3,300,000	1,100,000	0	0	2,200,000	H21.3.31		

産地競争力の強化

(都道府県名:北海道)

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

※については目標未達成事業についてのみ記載した。

支庁名	市町村名	事業実施主体名	作物等区分 (対象作物・畜産等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況					成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費(円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価(※)	都道府県の評価(※)	
						計画時 (平成19年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)	目標値 (平成22年)				達成率	交付金	都道府県費	市町村費				その他
上川	中富良野町	中富良野直播研究会	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(水稲直播機)】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を12%以上削減	0.64/10a	-	0.54/10a	0.54/10a	0.54/10a	100%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が15.6%削減した	水稲直播機 1台	4,021,500	2,010,000	0	0	2,011,500	H21.3.30		
上川	中富良野町	西成営農組合	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(穀物乾燥調製施設)】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を20%以上削減	19.70l/t	-	25.00l/t	15.60l/t	15.60l/t	100%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が20.8%削減した	遠赤外線乾燥機 9.6t×7基	26,040,000	13,020,000	0	0	13,020,000	H21.3.30		
上川	名寄市	道北なよろ農業協同組合	畑作物・地域特産物(ばれいしょ)	需要に応じた生産量の確保	【畑作物・地域特産物(ばれいしょ)】(契約取引に関する目標) ・馬鈴しょの契約取引に新たに取り組み、全出荷量のうち契約取引の割合を11%確保	0%	10.8%	9.7%	14.7%	11%	133.6%	全出荷量のうち契約取引の割合が14.7ポイント増加した	馬鈴しょ冷蔵貯蔵施設 1棟	237,604,500	112,286,000	0	0	125,318,500	H20.11.29	昨年度は7月の大雨により収量的には伸び悩み、目標数値を下回った。しかしながら、面積は計画以上に増加するとともに、契約数量は年々微増ながら増加し、目標を達成することができた。	契約取引の割合は14.7%と目標の11%を上回ったが、22年の天候不順により、生産数量は2,155tと目標の2,663tを達成できなかった。しかし、昨年・一昨年は目標以上の数量を生産しているため、23年度が平年作以上であれば達成できるものと期待している。
上川	名寄市	道北なよろ農業協同組合	野菜(スイートコーン)	品質向上及び需要に応じた生産量の確保	【野菜】(出荷規格の向上に関する目標) ・スイートコーンの全出荷量に占める上位規格品(2L以上)の割合が16ポイント増加	50%	-	60.4%	42.3%	66%	-48.1%	全出荷量に占める上位規格品が7.7ポイント減少した	スイートコーン真空予冷施設 1棟	76,440,000	36,400,000	0	0	40,040,000	H20.11.28	昨年度は、異常気象により、大雨による浸水や強風による倒伏、高温による急激な生育の進みによりL・M・優品規格中心の生育となり、上位等級の割合の向上については目標値を下回っている。契約数量については、生産量も増加したこともあり目標を達成する事ができた。 なお、23年においても、2年連続の高温傾向やたびたびの大雨など気象の影響を受け、上位規格品割合は、52%にとどまった。	スイートコーンの契約取引割合については目標に達したが、もう1つの成果目標であるスイートコーンの上位規格品割合については、66%に対し42.3%と目標に届かなかった。 これについては、高温多雨等の気象状況が原因となり上位等級の割合が上がらなかったと考えられるが、引き続き、移植技術やマルチ栽培などの技術の平準化に努め上位等級の割合を増加させるよう期待する。
上川	美瑛町	美瑛町農業協同組合	畑作物・地域特産物(その他)	需要に応じた生産量の確保	【畑作物・地域特産物(その他)】(契約取引に関する目標) ・雑豆の全出荷量のうち契約取引の割合が20.3ポイント増加	3.5%	17.7%	25.7%	26.6%	23.8%	113.8%	全出荷量のうち契約取引の割合が23.1ポイント増加した	豆類低温集出荷貯蔵施設 1棟1,425㎡	297,659,250	131,082,000	0	0	166,577,250	H21.3.27		
上川	東神楽町	聖台第2ライスセンター	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(穀物乾燥調製施設)】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を20%以上削減	19.30l/t	-	16.90l/t	11.20l/t	15.40l/t	207.7%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が41.9%削減した	遠赤外線乾燥機 6t×10基	28,402,500	14,201,000	0	0	14,201,500	H21.3.19	燃油使用量の縮減に大きな効果が見られた。一方で2段乾燥により、小麦の乾燥時間が目標積算値より67.0hr、水稲の乾燥時間が58.5hr超過し、10a当たりの労働時間の抑制には至らなかった。	成果目標の「当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を20%以上削減」については、状況に応じて通常乾燥を効率的に取り入れることで燃油使用量を抑制している。地域内でその時々々の条件に応じた対応を行っており、今後においても十分な成果が得られると判断できる。 また、「労働時間増加割合を10%以下に抑制」については、非効率に2段乾燥を実施しなければならない場面があったことから、達成が困難であったためであり、今後においては実情や天候・水分率を見通した取組が必要となる。
上川	東神楽町	聖台第3ライスセンター	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(穀物乾燥調製施設)】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を20%以上削減	20.70l/t	-	23.80l/t	16.50l/t	16.50l/t	100.0%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が20.28%削減した	遠赤外線乾燥機 6t×10基	32,422,500	16,211,000	0	0	16,211,500	H21.3.19		
上川	東神楽町	プロファクトリー	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(穀物乾燥調製施設)】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を20%以上削減	14.30l/t	-	22.50l/t	16.60l/t	11.40l/t	-79.3%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が16.0%増加した	遠赤外線乾燥機 8t×5基	15,610,000	7,805,000	0	0	7,805,000	H21.3.19	労働時間の縮減に効果が見られた。一方、燃油使用量については、仕上げ数量(製品+くず)が最大張り込み量(8t)を下回る受託作業が20戸中9戸あり、個別処理方式のため、最大張り込み量未満での運転が生じ、削減できなかった。	成果目標である「当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を20%以上削減」については、穀粒水分の高い時期に乾燥作業を実施したり、受託量の増加によるものから、次年度以降については、この教訓を活かして目標達成できることを期待する。また、労働時間については、各行程での再点検により目標が達成されている。
留萌	苫前町 羽幌町 初山別村 遠別町	苫前町農業協同組合	土地利用型作物(大豆)	品質向上	【土地利用型作物(大豆)】 (大豆産地安定供給(品質向上)に関する目標) ・上位等級比率(1・2等比率)が50%以上かつ事業開始年の前年(前5中3)の割合より5ポイント以上向上。	71%	-	98.2%	95.3%	84%	186.9%	上位等級比率(1・2等比率)が24.3ポイント増加した	乾燥調製施設 豆類乾燥調製施設 1棟	538,150,200	256,262,000	0	50,000,000	231,888,200	H21.10.16	販売環境が厳しく契約栽培に結びつけるのは難しい状況の中ではあるが、高品位大豆(1・2等)の生産に今後も努めながらも、実需ニーズと施設能力をPRした販売戦略により、目標の達成を目指したい。	乾燥調製施設の導入により調製能力が向上したことにより、高品位大豆生産の割合が増加した。実需と連携した契約栽培については、販売状況が厳しい中、乾燥調製施設が整備されたことにより契約栽培状況は向上していることから、今後高品位大豆の生産に努めることにより目標達成は可能と考える。

産地競争力の強化

(都道府県名:北海道)

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

※については目標未達成事業についてのみ記載した。

支庁名	市町村名	事業実施主体名	作物等区分 (対象作物・畜産等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況					成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費(円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価(※)	都道府県の評価(※)	
						計画時 (平成19年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)	目標値 (平成22年)				達成率	交付金	都道府県費	市町村費				その他
留萌	初山別村	初山別村機械利用組合	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(農業機械等(穀物乾燥調製施設))】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を20%以上削減	15.10/t	-	13.30/t	10.30/t	11.50/t	133.3%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が31.7%削減した	穀物乾燥調製施設 遠赤外線乾燥機 10t×6基	46,200,000	23,100,000	0	0	23,100,000	H21.6.30		
留萌	苫前町	九重第一利用組合	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(穀物乾燥調製施設)】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を20%以上削減	23.6/t	-	18.7/t	13.70/t	16.9/t	147.8%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が41.9%削減した	遠赤外線乾燥機 10t×4基	31,290,000	15,645,000	0	0	15,645,000	H21.3.19		
留萌	羽幌町	曙機械利用組合	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(汎用コンバイン)】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を14%以上削減	2.41/10a	-	2.23/10a	2.16/10a	2.07/10a	73.5%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が10.3%削減した	汎用コンバイン 1台	12,500,000	4,083,000	0	0	8,417,000	H21.3.17	平成22年7月の大雨で河川が氾濫し冠水したほ場もあり、作業効率が大幅にダウンしたため成果目標に対し未達となったが、本事業の実施により生産コストの低減、作業効率の改善を図ることができた。また、小麦の収穫にも活用し今後も更なる有効活用を図りたい。	本事業により汎用コンバインを導入したことでコストの低減及び作業効率の改善が図られた。しかし、平成22年7月の大雨により冠水したほ場が、一部廃耕となり作付面積が減少したことから、作業効率が大幅にダウンし、目標年度においては燃油使用量及び労働時間ともに未達成となったが、徐々に数値は改善されてきていることから、今後も関係機関が一体となって指導していくことにより目標達成は可能と考える。
網走	小清水町	小清水町農業協同組合	土地利用型作物(大豆)	品質向上	【土地利用型作物(大豆)】 (大豆産地安定供給(品質向上)に関する目標) ・上位等級比率(1・2等比率)が50%以上かつ事業開始年の前年(前5中3)の割合より5ポイント以上向上。	72.8%	-	51.0%	67.2%	90.0%	-32.7%	上位等級比率が67.2%となった	穀類乾燥調製貯蔵施設 大豆貯蔵施設 1棟	58,275,000	27,750,000	0	0	30,525,000	H21.12.14	本事業により品質向上、需要に応じた生産量の確保を成果目標として取り進めてきたが、目標数値には至らなかった。 ・品質向上: H19計画時72.8%→H22目標90%→H22実績67.2% 大豆製品保管庫の充実により適期刈り取りを進め品質向上を目指したが播種時期の天候不順により計画数値を下回るものとなった。 契約栽培割合の増加については安定供給のため作付面積の増加と品質向上で契約割合の増加を目指したが消費低迷により契約数量の削減を余儀なくされ減少に至った。 今後品質向上について、ここ数年は経験の少ない生産者も多く農業試験場及び農業改良普及センターと連携の中、技術向上による安定生産を目指す。契約栽培の増加については計画年と比較すると2,000俵から3,160俵と1,160俵増加と取扱量増加に伴い契約割合は減少しているが取扱量は増加しており、今後は品質分析を行い独自の販売へつなげていく。	本事業により整備した施設においては、大豆の上位等級比率の向上を目指したが、成果目標年度(H22)において、天候不順により大豆の作柄が悪く、計画時(H19)の等級比率(78%)を下回る結果(67.2%)となり、成果目標の達成率が-32.6%と不調となった。 (H19計画時:72.8%→H22目標:90%→H22実績:67.2%) また、大豆の契約栽培割合の増加については、作付面積の増加(H19:90ha→H22:195ha)とこれに伴う生産量の増加(H18:2,569俵→H22:8,135俵)はあったものの、成果目標年度(H22)における契約取引割合が、近年の不作の影響もあり、品質維持(上位等級比率)ができなかったことから、契約取引先の確保が思うように進まず、達成率が-50.6%となった。 (H19計画時:56%(2,001/3,573俵)→H22目標:90%(12,060/13,400俵)→H22実績:38.8%(3,160/8,135俵)) 2つの成果目標については、目標年度までに達成とならなかったため、関係機関(農業試験場及び農業改良普及センター)と連携の上、早期に成果目標を達成できるよう改善指導を行うこととする。 なお、大豆の作柄が平年並みであれば、平成23年度中に成果目標の達成が見込める。
網走	北見市訓子府町	きたみらい農業協同組合	畑作物・地域特産物(ばれいしょ)	品質向上	【畑作物・地域特産物(ばれいしょ)】 (高品質品種の導入等に関する目標) ・従来品種と異なる高品質品種の作付面積を5%以上増加。	0%	-	0.6%	0.7%	10%	6.5%	従来品と異なる高品質品種の作付面積が5.7ha増加した	集出荷貯蔵施設 馬鈴しょ中心空洞判定装置 2カ所	304,500,000	145,000,000	0	0	159,500,000	H21.8.10	近年の馬鈴しょの中心空洞の発生は異常気象の影響もあり発生率が多い状況にあり、特に平成22年度は全道的に空洞果の発生が多い年であったが、中心空洞判定装置が全ラインに設置されたことから出荷される製品には空洞の発生した馬鈴しょの含まれる割合は大幅に削減され、市場評価の低下及び価格の低下を防ぐことができ、生産者所得への影響を最小限にとどめることができた。中心空洞判定装置の事業効果が最大限に発揮されたと思われる。 なお、全作付面積に占める高品質品種(ゆきつばら、スノーマーチ)の増加については、高品質品種の市場における知名度が低いことなどから、販売数量が伸びず、結果、受益農家における従来品種(男爵、メークイーン)からの品種転換が思うように進んでいない。 今後は、これまで以上に高品質品種の販売促進に力を入れ、受益農家における品種転換が進むよう努力する。	本事業による整備した施設においては、生食用馬鈴しょの全作付面積に占める高品質品種(ゆきつばら、スノーマーチ)の作付面積割合の増加を目指したが、品種転換が思うように進まず、成果目標の達成率が6.5%と低調にある。 (H19計画時:0%→H22目標:10%→H22実績:0.7%) なお、全出荷量に占める契約取引割合の増加については、成果目標年度(H22)における取引(契約交渉)が順調に進み、達成率が194.5%となった。 (H19計画時:10.6%→H22目標:30.6%→H22実績49.5%) 全作付面積に占める高品質品種の増加割合についての成果目標については、目標年度までに達成とならなかったため、関係機関(農業試験場及び農業改良普及センター)と連携の上、早期に成果目標を達成できるよう改善指導を行うこととする。 また、シストセンチュウの発生拡大が問題となっていることから、北海道としてもシストセンチュウ低減に有効なスノーマーチなどのシストセンチュウ抵抗性品種の普及推進に向けた取組を行う。

産地競争力の強化

(都道府県名:北海道)

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

※については目標未達成事業についてのみ記載した。

支庁名	市町村名	事業実施主体名	作物等区分 (対象作物・畜産等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費(円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価(※)	都道府県の評価(※)
						計画時 (平成19年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)	目標値 (平成22年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他			
網走	津別町	津別町農業協同組合	畑作物・地域特産物(ばれいしょ)	品質向上	【畑作物・地域特産物(ばれいしょ)】 (高品質品種の導入等に関する目標) ・従来品種と異なる高品質製品種の作付面積を5%以上増加。	34.0ha	59.0ha	68.1ha	71.8ha	45.0ha	343.6%	従来品と異なる高品質品種の作付面積が34.1ha増加した	集出荷貯蔵施設 加工馬鈴しょ貯蔵施設 1棟	794,480,820	378,324,000	0	0	416,156,820	H22.2.23	加工馬鈴しょの高品質品種(スノーデン)の作付面積拡大を目標とし、事業実施後1年目で目標が達成された。 (H19計画時:34ha→H22目標:45ha→H22実績:71.8ha) 販売生産数量の増加については、目標年度(H22)において高温多湿の影響により作柄が悪く、目標増加割合26.8%に対し10.9%の実績であった。 (H19計画時:5,288t→H22目標:6,706t→H22実績:5,866t) 販売生産数量の増加目標については、目標年度までに達成ができなかったため、関係機関(農業試験場及び農業改良普及センター)の指導のもと、早期に目標達成できるよう改善を図る。 なお、馬鈴しょの作柄が平年並みであれば、平成23年度中に目標の達成が見込める。	本事業により整備した施設については、加工用馬鈴しょの高品質品種(スノーデン)の作付面積拡大を目標とし、事業実施後1年目で成果目標を達成している。 (H19計画時:34ha→H22目標:45ha→H22実績:71.8ha) また、販売生産数量の増加についても、成果目標年度(H22)における作柄が高温多湿の影響により悪かったため、達成率が40.8%と低調である。 (H19計画時:5,288t→H22目標:6,706t→H22実績:5,866t) 販売生産数量の増加についての成果目標については、目標年度までに目標達成とならなかったため、関係機関(農業試験場及び農業改良普及センター)と連携の上、早期に成果目標の達成ができるよう改善指導を行うこととする。 なお、馬鈴しょの作柄が平年並みであれば、平成23年度中に成果目標の達成が見込める。
網走	美幌町	美幌町農業協同組合	畑作物・地域特産物(ばれいしょ)	品質向上	【畑作物・地域特産物(ばれいしょ)】 (高品質品種の導入等に関する目標) ・従来品種と異なる高品質製品種の作付面積を5%以上増加。	3.5ha	0.5ha	17.2ha	25.8ha	90.0ha	25.8%	従来品と異なる高品質品種の作付面積が22.3ha増加した	集出荷貯蔵施設 加工馬鈴しょ貯蔵施設 1棟	825,518,400	393,104,000	0	0	432,414,400	H21.11.30	加工馬鈴しょ集出荷貯蔵施設を整備したことで、品質の向上・均一化が図られ正産率も向上し取引先からの信頼も得られ、販売数量の増加につながった。しかし、高品質品種の作付増加については、作付奨励金を支払うなどして推進を図っているが思うように進まず、23年度も作付奨励金制度を継続し目標達成に向け推進する。また、販売生産数量についても22年度の高温多湿が影響し減収となったことで目標を達成できなかった。 23年度に向けては、農業改良普及センターと連携し栽培指導の徹底を図ることで目標を達成させたい。	本事業により整備した施設においては、加工用馬鈴しょの高品質品種の作付増加を目指しているところであるが、品種転換が思うように進まず、成果目標年度を迎えたにも拘わらず、達成率が25.8%と低調である。(H19計画時:3.5ha→H22目標:90ha→H22実績:25.8ha) また、販売生産数量の増加についても、成果目標年度における作柄が高温多湿の影響により悪かったため、達成率が39.7%と低調である。(H19計画時:8,588.5t→H22目標:10,471t→H22実績:9,336.6t) 2つの成果目標については、目標年度までに達成とならなかったため、関係機関(農業試験場及び農業改良普及センター)と連携の上、早期に成果目標を達成できるよう改善指導を行うこととする。 なお、販売生産数量については、馬鈴しょの作柄が平年並みであれば、平成23年度中に成果目標の達成が見込める。
網走	小清水町	小清水町コントラクター利用組合	飼料増産	生産性向上	【飼料増産】 (飼料作物の増産に関する目標) ・飼料収穫面積を3%以上又は0.5ha以上増加	304.0ha	304.0ha	280.0ha	315.0ha	460.0ha	7.1%	飼料収穫面積が3.6%増加した	共同利用機械 フォーレージハーベスター 1台	47,229,000	14,993,000	0	0	32,236,000	H21.7.16	生産拡大に向けた労働力不足、個人所有機械の老朽化に伴う多額の機械更新費の抑制と、個人収穫体制から脱却し粗飼料の品質低下を起因とする牛乳生産効率の伸び悩みを解消する為に、事業によりフォーレージハーベスターを導入したが、収穫物保管施設整備と給餌体系の改善、利用組合員の意向に沿った適期収穫を行えなかったことから、受益農家戸数の増加には至らなかった。粗飼料の収穫面積についても受益農家の増加を認めなかったことから面積を大幅に増加させる事が出来なかった。 目標年度までに成果目標を達成できなかった事を真摯に受け止め、早期に成果目標を達成すべく、関係機関と連携して利用組合員の意向に沿った適期収穫を行うための作付圃場の集約化を進めるとともに、給餌体系の改善を図り受益農家戸数の増加と受託面積の増加を目指す。	本事業により導入した機械については、コントラクターの受託農家戸数の増加(+5戸)を目指したが、成果目標年度(H22)を迎えても、受益地区における給餌体系の改善が図られなかったことから、受託農家戸数については、現状維持のままとなっている。 (H19計画時:21戸 → H22目標:26戸 → H22実績:21戸(継続21戸、新規1戸、離脱1戸)) また、粗飼料(牧草・デントコーン)の収穫面積の増加についても、受託農家戸数が成果目標に到達しなかったことから、コントラクターの引受面積の増加も伸び悩み、達成率が7.1%と低調な結果となっている。(H19計画時:56% → H22目標:90% → H22実績:38.8%) 2つの成果目標については、目標年度までに達成とならなかったため、関係機関(小清水町農協及び農業改良普及センター)と連携のうえ、早期に成果目標を達成できるよう改善指導を行うこととする。
網走	北見市	(株)グリーンズ北見	国産原材料供給円滑化対策(たまねぎ)	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	【国産原材料供給円滑化対策(輸入急増野菜)】 (契約取引の推進に関する目標) ・全出荷量又は全作付面積のうち契約取引割合を25.4ポイント増加	45.4%	67.9%	69.1%	75.2%	70.8%	117.3%	玉ねぎの全出荷量のうち契約取引割合が29.8ポイント増加した	加工(IQF)設備一式	199,500,000	93,100,000	0	0	106,400,000	H21.3.20		

産地競争力の強化

(都道府県名:北海道)

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

※については目標未達成事業についてのみ記載した。

支庁名	市町村名	事業実施主体名	作物等区分 (対象作物・畜産等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況					成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費(円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価(※)	都道府県の評価(※)	
						計画時 (平成19年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)	目標値 (平成22年)				達成率	交付金	都道府県費	市町村費				その他
網走	北見市	常呂町小豆生産組合	畑作物・地域特産物	生産性向上	【畑作物・地域特産物(その他)】 (労働時間の削減に関する目標) ・10a当たり労働時間を10%以上削減	8.16hr/10a	-	5.98hr/10a	6.01hr/10a	3.77hr/10a	49.0%	10a当たりの労働時間が26.3%削減した	雑豆用コンバイン 3台	22,554,000	7,512,000	0	0	15,042,000	H21.3.26	本事業により高性能な収穫作業機を導入したことで、適期収穫と労働力軽減が図られたが、平成22年度については、生育期や収穫作業時期の天候不順により、機械収穫が出来なかったり、一部収穫時間の短縮とならない場面もあった。 また、生産組織及び各関係機関が一体となった活動により、生産技術の高位平準化に努め、YES!Cleanへの取組みが増えたことで、契約取引を増やすことが出来た。 しかしながら、受益地における小豆生産の労働力削減(10a当たり53.8%削減・H19:8.16hr/10a→H22:3.77hr/10a)については、平成21年度は冷湿害の影響により、畑がぬかるむなどで、思うようにコンバイン収穫が出来ず、手作業での収穫が発生したため、労働時間の短縮効果が低かった。また、平成22年度は高温多雨により、一昨年度と同様の理由により、コンバイン収穫が進まなかったことや病害虫防除作業が増えたこともあり、目標年度迎えたにも拘わらず、成果目標の達成に至っていない。 このため、継続して成果目標の達成を見届けるべく、事業実施主体に対して、農業改良普及センターや農業関係団体からの営農技術指導受けながら、小豆の適期収穫による労働力削減を図ることとする。	当該補助事業での雑豆コンバイン導入を契機として、常呂地区における小豆の契約栽培(新規取引先の確保)や収穫作業の機械化による労働力軽減によって、小豆の作付面積が83%増加(H19:44.15ha→H22:81.00ha)した。 また、受益地における小豆の取引では、事業実施後の2年目から、全量契約取引となり、成果目標(契約率80%)を上回る達成状況となっている。 しかしながら、受益地における小豆生産の労働力削減(10a当たり53.8%削減・H19:8.16hr/10a→H22:3.77hr/10a)については、平成21年度は冷湿害の影響により、畑がぬかるむなどで、思うようにコンバイン収穫が出来ず、手作業での収穫が発生したため、労働時間の短縮効果が低かった。また、平成22年度は高温多雨により、一昨年度と同様の理由により、コンバイン収穫が進まなかったことや病害虫防除作業が増えたこともあり、目標年度迎えたにも拘わらず、成果目標の達成に至っていない。 このため、継続して成果目標の達成を見届けるべく、事業実施主体に対して、農業改良普及センターや農業関係団体からの営農技術指導受けながら、小豆の適期収穫による労働力削減を図ることとする。
網走	斜里町	斜里町農業協同組合	甘味資源作物・でん粉原料用いも再編整備(でん粉原料用いも)	需要に応じた生産量の確保	【甘味資源作物・でん粉原料用いも再編整備】(でん粉原料用いも)でん粉原料用いも産地再編のための緊急的取組に関する目標(作付面積(又は出荷量)に関する目標) ・他用途利用向け(加工用馬鈴しょ)の出荷量が151%増加	4,908t	8,777t	9,786t	12,059t	12,300t	96.7%	加工用馬鈴しょの出荷量の割合が145.7%増加した	馬鈴しょ貯蔵施設 1棟 検査・情報処理室 1棟 馬鈴しょ選別機一式	1,112,333,880	529,682,000	0	0	582,651,880	H20.9.12	平成20年度本事業において「加工馬鈴しょ集出荷貯蔵施設」を取得し、「加工向け馬鈴しょの生産拡大により加工向け馬鈴しょの需要に応え、本庁農業の持続的発展を図る」という当初の目的は概ね達成された(平成22年度の目標年度において)と自己評価する。 但し、生産実態や流通段階など、それぞれの内容において当初計画に対し未達成な部分が見られている状況にある。 内外的な要因により、計画当初の想定と異なる実態があるものの着実に生産拡大がはかられており、実需者との連携により新たな品種の適性試験を実施しながら、当初の目的達成が着実に図られている。 当該施設整備に関する成果目標の達成状況については、目標年度(H22)における馬鈴しょの作柄が天候不順(高温多湿)により、悪かったことから、「加工用馬鈴しょの出荷割合の増加」が目標値(12,300t)に僅か及ばなかった(12,059t)。 また、2つ目の成果目標である「加工馬鈴しょの契約取引割合の増加」については、作付面積の増加(H18:249ha→H22:456ha)とこれに伴う生産量の増加(H18:4,908t→H22:12,059t)はあったものの、成果目標年度(H22)における作付面積に占める契約取引(面積)割合が、加工適性に優れたシストセンチチュウ抵抗性品種の作付拡大が思うように進まなかったことで、大口需要者(カルビーポテト)からの契約取引面積が伸びず、その分、生食用馬鈴しょの作付面積が微増(H18:75ha→H22:96ha)したことも相まって、目標値(83.5%)に及ばない結果(78.9%)となり、目標達成率も64.1%となった。 成果目標の達成においては、馬鈴しょの作柄に大きく影響されるものの、実需者のニーズに応じた産地対策(センチチュウ抵抗性品種への転換、でん粉需要の対応)が不十分であったこともあり、平成23年度においては、生産者サイドの取り組みについて、地元関係機関(農協、生産部会、普及センターなど)と連携のうえ、早期に成果目標を達成できるよう改善指導を行うこととする。	当該施設整備に関する成果目標の達成状況については、目標年度(H22)における馬鈴しょの作柄が天候不順(高温多湿)により、悪かったことから、「加工用馬鈴しょの出荷割合の増加」が目標値(12,300t)に僅か及ばなかった(12,059t)。 また、2つ目の成果目標である「加工馬鈴しょの契約取引割合の増加」については、作付面積の増加(H18:249ha→H22:456ha)とこれに伴う生産量の増加(H18:4,908t→H22:12,059t)はあったものの、成果目標年度(H22)における作付面積に占める契約取引(面積)割合が、加工適性に優れたシストセンチチュウ抵抗性品種の作付拡大が思うように進まなかったことで、大口需要者(カルビーポテト)からの契約取引面積が伸びず、その分、生食用馬鈴しょの作付面積が微増(H18:75ha→H22:96ha)したことも相まって、目標値(83.5%)に及ばない結果(78.9%)となり、目標達成率も64.1%となった。 成果目標の達成においては、馬鈴しょの作柄に大きく影響されるものの、実需者のニーズに応じた産地対策(センチチュウ抵抗性品種への転換、でん粉需要の対応)が不十分であったこともあり、平成23年度においては、生産者サイドの取り組みについて、地元関係機関(農協、生産部会、普及センターなど)と連携のうえ、早期に成果目標を達成できるよう改善指導を行うこととする。
網走	津別町	津別有機酪農研究会	飼料増産	生産性向上	【飼料増産】(飼料作物の増産に関する目標) (飼料増産) ・飼料収穫・収集面積が10ha増加	52.0ha	56.9ha	62.9ha	66.6ha	62.0ha	146.0%	飼料収穫・収集面積が28.0%増加した	細断型ロールペラー 1台	11,760,000	5,880,000	0	0	5,880,000	H20.6.30		
網走	大空町	女満別町農業協同組合	原油高騰対策	生産性向上	【原油高騰対策(穀類乾燥調製貯蔵施設)】 (農業機械等利用における省エネルギー化に関する目標) ・当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を10%以上削減	18.25l/t	-	-	14.80l/t	16.42l/t	188.5%	当該農業機械等利用に係る燃油の使用量が18.9%削減した	小麦乾燥調製施設 1棟 サイロ 8基	1,543,500,000	735,000,000	0	183,750,000	624,750,000	H21.12.24		
十勝	士幌町	士幌町農業協同組合	国産原材料供給円滑化対策	品質向上	【国産原材料供給円滑化対策(麦の乾燥調製体制の緊急整備)】 (品質の向上に関する目標) ・契約生産奨励金のAランクの評価数量の割合が事業開始年の前年(前3カ年平均)の割合を上回る。	94.70%	-	0%	0%	100%	-100.0%	契約生産奨励金のAランクの評価数量の割合が伸び悩んだ	穀類乾燥調製貯蔵施設 1棟 小麦サイロ 6基	2,112,600,000	1,006,000,000	0	0	1,106,600,000	H22.2.15	23年度は高収入・高品質に向けて関係機関と連絡を密にして取り組みたい。	新品種の作付割合の増加に係る成果目標については達成されたものの、品質評価に係る成果目標については、猛暑等の影響により、品質が低下し目標を達成することができなかった。 今後とも、目標達成に向け関係機関の指導が必要である。

産地競争力の強化

(都道府県名:北海道)

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

※については目標未達成事業についてのみ記載した。

支庁名	市町村名	事業実施主体名	作物等区分 (対象作物・畜産等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費(円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価(※)	都道府県の評価(※)
						計画時 (平成19年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)	目標値 (平成22年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他			
十勝	上士幌町	上士幌町農業協同組合	国産原材料供給円滑化対策	品質向上	【国産原材料供給円滑化対策(麦の乾燥調製体制の緊急整備)】 (品質の向上に関する目標) ・契約生産奨励金のAランクの評価数量の割合が事業開始年の前年(前3カ年平均)の割合を上回る。	100%	54%	62%	0%	100%	-100.0%	契約生産奨励金のAランクの評価数量の割合が伸び悩んだ	穀類乾燥調製貯蔵施設 小麦乾燥調製貯蔵施設 1棟 小麦サイロ 3基	1,050,000,000	500,000,000	0	0	550,000,000	H22.3.31	新品種への切替については順調に行えたが、作況不良によりAランク比率0%であった。しかしながら、旧品種(ホクシン)では粗原反収5.93俵・格付2等Dランクに対し新品種(きたほなみ)は粗原反収6.7俵・格付2等Cランクと、いずれも旧品種を上回る結果となった。本年より銅亜鉛入り石灰の積極的な導入を行いながら営農指導を強化し品質向上に向け取り組みしていく。	新品種への転換については、順調に取組が進み、目標が達成されたが、平成22年は、猛暑による異常気象のため品質が低下し、Aランク評価比率に係る成果目標を達成することができなかった。今後とも、目標達成に向け関係者の指導が必要である。
十勝	清水町 新得町	十勝清水町農業協同組合	国産原材料供給円滑化対策	品質向上	【国産原材料供給円滑化対策(麦の乾燥調製体制の緊急整備)】 (品質の向上に関する目標) ・契約生産奨励金のAランクの評価数量の割合が事業開始年の前年(前3カ年平均)の割合を上回る。	91.70%	-	56.1%	0%	100%	-100.0%	契約生産奨励金のAランクの評価数量の割合が伸び悩んだ	穀類乾燥調製貯蔵施設 小麦乾燥調製貯蔵施設 1棟 小麦サイロ 6基	630,000,000	300,000,000	0	0	330,000,000	H22.2.10	新品種(きたほなみ)の作付けに係る成果目標については、計画的な品種転換を図り、達成率が123%となったものの、出穂後の高温多雨の影響により、登熟期間の短縮や赤かび病が多発したため、子実の充実が悪く、極端な減収と品質低下を招いた。このため、目標数量および目標品質を達成することはできなかった。しかし、天候不順による低収年ではあったものの、きたほなみの粗原単収は、ホクシン対比119%と、当初見込みどりの実力を示しており、きたほなみの作付比率100%となる23年度以降については、目標達成は可能と思われる。	新品種作付けに係る成果目標については達成されたものの、品質に係る成果目標については、猛暑など気象の影響により目標を達成することができなかった。今後とも、目標達成に向け関係機関等の指導が必要である。
十勝	池田町	十勝池田町農業協同組合	国産原材料供給円滑化対策	品質向上	【国産原材料供給円滑化対策(麦の乾燥調製体制の緊急整備)】 (新品種の作付面積の増加に関する目標) ・事業実施地区における麦の新品種の作付面積を2%以上増加	0%	0%	7%	36.8%	27.5%	133.8%	新品種に係る作付割合が36.8ポイント増加した	穀類乾燥調製貯蔵施設 小麦・豆類乾燥調製施設 1棟	1,270,500,000	605,000,000	0	0	665,500,000	H22.2.20	小麦においては新品種「きたほなみ」を導入し、平成22年度の作付割合は36.8% (小麦作付 1,400haの内きたほなみ 515ha)で目標を達成した。ホクレン全道作付計画に基づき、平成23年度(平成22年播種)の「きたほなみ」の作付けは100%となっている。豆類については、出荷量のうち契約取引割合が計画時は15.5%であるが、平成22年度は契約数量割合は31.7%の実績となる。	小麦の新品種の作付に係る成果目標については達成率が133.8%と目標を達成した。豆類の契約取引割合に係る成果目標については達成率が80.6%となっているものの、年々増加しており、また、新たな契約取引の取組も検討されているため、今後とも、目標達成に向け関係機関等への指導が必要。
十勝	芽室町	芽室町農業協同組合	土地利用型作物(大豆)	品質向上	【土地利用型作物(大豆)】 (大豆産地安定供給(品質向上)に関する目標) ・上位等級比率(1・2等比率)が50%以上かつ事業開始年の前年(前5中3)の割合より5ポイント以上向上。	45%	61.6%	99.6%	50.7%	66.20%	26.9%	上位等級比率が5.7ポイント増加した	乾燥調製施設 色選別機一式	102,900,000	49,000,000	0	0	53,900,000	H21.10.31	大豆の上位等級比率(1・2等)については、目標値66.2%に対し、天候不順等により品質が低下し50.7%と目標値を下回る結果となる。また、従来品種と異なる高品質品種(きたほなみ)の作付面積については、目標値445haに対し610ha(137.1%)の実績となり目標値を大きく上回る結果となる。	高品質品種の作付面積の増加に係る成果目標については達成された。上位等級比率の向上に係る成果目標については、天候不順により品質が低下し、目標を達成することができなかったものの、近年増加しており、また、新たな契約の見込まれる。今後とも、目標達成に向け関係機関への指導が必要である。
十勝	帯広市	帯広大正農業協同組合	畑作物・地域特産物(ばれいしょ)	生産性向上	【畑作物・地域特産物(ばれいしょ)】 (病害虫による農作物被害の防止に関する目標) ・病害虫の発生地域において、新規発生率を10%未満に抑制	0%	0%	0%	0%	0%	100%	ジャガイモストセンチウの新規発生を抑制した	集出荷貯蔵施設 馬鈴しょ選別設備一式	351,750,000	167,500,000	0	0	184,250,000	H21.9.30		
十勝	芽室町	芽室町農業協同組合	畑作物・地域特産物(ばれいしょ)	需要に応じた生産量の確保	【畑作物・地域特産物(ばれいしょ)】 (販売金額に関する目標) ・販売金額を5%以上増加	2,838百万円	2,963百万円	3,316百万円	3,024百万円	3,439百万円	30.9%	販売金額が6.1%増加した	集出荷貯蔵施設 種馬鈴しょ貯蔵施設 1棟	516,789,000	246,090,000	0	0	270,699,000	H21.10.31	平成22年度の馬鈴しょ販売代金は目標年である平成22年の3,439百万円に対し3,024百万円となったが、影響の大きな要因としては過年経験した事のない不作の年にあたり大幅な生産量の減少となった。(平年作約75%)しかしながら、全国的な馬鈴しょ不足の中にあり品種を問わず高値での販売となったが生産量の減少が大きく影響し、目標とする販売額には未到達となる。規格内収益の向上を目的としたサイズ選別(茎密度理論)については、導入2年目の1,138tに対し、全種馬鈴しょ取扱量の約49%となる2,970tについてサイズ選別を行った。共同利用施設への利用率については、不昨年と言う事もあり目標生産量8,084tに対し74.8%の6,047tに留まる結果となった。最終的には、過去2年間(平成21年・22年)の大幅な減収により、目標値を達成する事が出来なかったが、早期目標達成に向けた今後の取組が重要となる。	病害虫の新規発生抑制に係る成果目標については、達成された。馬鈴しょの販売金額に係る成果目標については、過去経験したことの不作により販売量が減少し、目標を達成することができなかった。今後とも、目標達成に向け関係機関への指導が必要である。
十勝	士幌町	士幌町農業協同組合	国産原材料供給円滑化対策(野菜)	需要に応じた生産量の確保	【国産原材料供給円滑化対策(野菜)】 (契約取引の推進に関する目標) ・全出荷量のうち契約取引の割合を27.6ポイント以上増加	31.70%	34.50%	80.10%	67.50%	59.30%	129.7%	【国産原材料供給円滑化対策(野菜)】 (加工品又は加工原材料の販売金額の増加に関する目標) ・当該事業実施主体によるスイートコーンの加工品	農産物処理加工施設 スイートコーン加工設備一式 共同利用機械 スイートコーン収穫機 2台	1,125,075,000	527,870,000	0	0	597,205,000	H21.7.13		

産地競争力の強化

(都道府県名:北海道)

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

※については目標未達成事業についてのみ記載した。

支庁名	市町村名	事業実施主体名	作物等区分 (対象作物・畜産等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況					成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費(円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価(※)	都道府県の評価(※)	
						計画時 (平成19年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)	目標値 (平成22年)				達成率	交付金	都道府県費	市町村費				その他
十勝	中札内村	中札内村農業協同組合	国産原材料供給円滑化対策(野菜(えだまめ、さやいんげん))	需要に応じた生産量の確保	【国産原材料供給円滑化対策(野菜)】 (契約取引の推進に関する目標) ・全出荷量のうち契約取引の割合を31.2ポイント以上増加	60.10%	-	89.70%	92.50%	91.30%	103.8%	【国産原材料供給円滑化対策(野菜)】 (加工品又は加工原材料の販売金額の増加に関する目標) ・当該事業実施主体によるえだまめ・さやいんげんの加工品の販売金額を194%以上増加	農産物処理加工施設 えだまめ・さやいんげん加工設備一式 建物増設 共同利用機械 えだまめ・さやいんげん収穫機 1台	1,979,250,000	897,557,000	0	0	1,081,693,000	H21.11.30	農産物加工処理施設の増築及び共同利用機械を増台することにより、作付面積の拡大は図られた。また、新たな販路の拡大等により契約取引割合の増加を図ることができた。しかし、東日本大震災の影響により、海外輸出量が減少し販売金額増加の目標が達成出来なかった。 今後は、新たな販路拡大や海外輸出量の増加を図ることにより、販売金額増加の目標達成に向け取り組んでいく。	契約取引割合の増加に係る目標については達成された。 販売金額の増加に係る目標については、震災の影響により達成することができなかった。 今後、販路の拡大が見込まれることもあり、販売金額に係る目標達成に向け関係機関による指導が必要である。
十勝	中札内村	山ごぼう耕作者組合	国産原材料供給円滑化対策(野菜(山ごぼう))	生産性向上	【国産原材料供給円滑化対策(野菜)】 (コスト削減に関する目標) ・単位面積当たりの費用合計を41.3%削減	178,907円/10a	-	120,843円/10a	102,038円/10a	104,896円/10a	103.9%	【国産原材料供給円滑化対策(野菜)】 (加工品又は加工原材料の販売金額の増加に関する目標) ・当該事業実施主体による山ごぼうの加工原材料の販売金額を544%以上増加	集出荷貯蔵施設 山ごぼう選別施設 1棟	68,040,000	32,773,000	0	0	35,267,000	H21.11.30	農産物集出荷貯蔵施設の整備により、作付面積の増加及び単位面積当たりの費用削減は図られたが、平成22年度については異常気象による発芽不良での減収、トウダチによる規格内製品率が低下し、販売金額増加の目標が達成出来なかった。 今後は、農業者を対象に研修会・講習会を開催し、栽培技術の向上を図り、収量の増加、品質向上に努めることにより、規格内製品率を向上させ販売金額増加の目標達成に向け取り組んでいく。	本事業の実施により作付面積及び費用の削減が図られたが、異常気象による収量減及び規格内製品率の低下により販売金額に係る目標が達成できなかった。 今後も、目標達成に向け、関係機関による指導が必要である。
十勝	芽室町	芽室町農業協同組合	国産原材料供給円滑化対策(野菜(さやいんげん、えだまめ)) 畑作物・地域特産物(馬鈴しょ)	需要に応じた生産量の確保	【国産原材料供給円滑化対策(野菜)】 (加工品又は加工原材料の販売金額の増加に関する目標) ・当該事業実施主体によるえだまめ・さやいんげんの加工品の販売金額を77.4%以上増加	336,444千円	464,713千円	450,063千円	478,153千円	597,001千円	54.4%	【畑作物・地域特産物(ばれいしょ)】 (販売金額に関する目標) ・加工用馬鈴しょの生産数量を27.8%以上増加	農産物処理加工施設 馬鈴しょ・さやいんげん・えだまめ加工設備一式	246,015,000	117,150,000	0	0	128,865,000	H21.10.31	えだまめ・さやいんげんの生産は収穫・栽培技術の向上と、温暖化の影響もあり21年1920t、22年2538tと目標値1911tを上回ったが、同時期に雇用不安や所得の減少を背景に取引先・消費者の生活防衛意識が高まり外食を控えなどの消費の低迷が強まり、メニュー単価の高い商品には逆風となり、輸入品の回復動きも顕著である。販売環境は20年に前年比38%と大きく伸びたが22年では目標値の80%に留まった。 販売が23年度にずれ込み傾向となり、他産地では減反、原料単価の見直しが始まっているが、当JAIにおいては、取引先ニーズに沿ったカットいんげん及びむき枝豆の製造の増産を他工場に先駆けては実施しており、進捗は遅れているものの、確実に取引先及び供給量の増加がみられる。 また、同時に食に対する消費者・取引先の信頼を得るため、取得を目指した食の安全安心の国際規格ISO22000の認証取得(21年7月)し、継続的な維持・改善に努めている。特に枝豆は季節販売商品からの脱却、むき枝豆の単品販売からミックス豆の生産増、いんげんの外食向け・加工向けの回復、冷凍保管庫を中心とした産地主導のサプライチェーンの構築などにより多様化する消費者・取引先ニーズに柔軟に対応していくため産地型工場としての品質的差別化とリードタイム短縮・在庫削減・コストダウンを強力にすすめ、輸入品及び競合他産地に対抗した販売戦略により目標値達成を実現する。馬鈴しょマニラダはフライ製品の集中加工が可能となり、地域限定品種を前面に販売し、生産量は目標の1600t(使用原料量)を達成し、今後も更なる作付面積の拡大により生産量2000tを目指す。	加工用馬鈴しょの生産数量の増加に係る成果目標については達成された。 加工品の販売額の増加に係る成果目標については、景気の影響により目標を達成することができなかった。今後は消費者・取引先ニーズに柔軟に対応することにより、目標達成に向け努力することにより、関係機関への指導が必要である。
十勝	清水町	(有)清水町農業サポートセンター	多角的農作業コントラクター育成(飼料作物)	生産性向上	【飼料増産】 (飼料作物の増産に関する目標) ・飼料収穫面積を3%以上又は0.5ha以上増加	1,833.6ha	-	2,773.9ha	2,783.2ha	2,423.1ha	161.1%	飼料収穫収集面積が51.7%増加した	共同利用機械 フォレージハーベスター 1台 コンブランナー1台	41,685,000	13,233,000	0	0	28,452,000	H21.5.30		
十勝	音更町	音更町農業協同組合	環境保全	農畜産業の環境保全	【環境保全】(環境保全型農業に取り組む面積の増加に関する目標) ・事業の受益に係る販売農家の経営面積のうち環境保全型農業に取り組む面積の割合が29.1ポイント増加	1.60%	37.8%	45.3%	44.5%	30.70%	147.4%	環境保全型農業に取り組む面積が42.9ポイント増加した	浅層排水 30.1ha	46,032,349	21,920,000	0	0	24,112,349	H20.12.11		
十勝	音更町	音更町農業協同組合	畑作物・地域特産物(ばれいしょ)	生産性向上	【畑作物・地域特産物(ばれいしょ)】(コスト削減に関する目標) ・種子馬鈴しょの10a当たり生産コストを20.7%削減	92,514円/10a	92,514円/10a	73,417円/10a	73,417円/10a	73,417円/10a	100.0%	10a当たりの生産コストが20.7%削減した	種子馬鈴しょ共同選別施設 1棟1,395㎡ 消毒施設 1棟480㎡ 車両洗浄施設一式	578,592,000	275,520,000	0	0	303,072,000	H21.3.16		

産地競争力の強化

(都道府県名:北海道)

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

※については目標未達成事業についてのみ記載した。

支庁名	市町村名	事業実施主体名	作物等区分 (対象作物・畜産等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費(円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価(※)	都道府県の評価(※)
						計画時 (平成19年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)	目標値 (平成22年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他			
十勝	帯広市	帯広市川西農業協同組合	環境保全	農畜産業の環境保全	【環境保全】(環境保全型農業に取り組む面積の増加に関する目標) ・事業の受益に係る販売農家の経営面積のうち環境保全型農業に取り組む面積の割合が13.1ポイント増加	1.2%	1.2%	3.0%	6.9%	14.3%	43.5%	環境保全型農業に取り組む面積が6.9ポイント増加した	石れき除去 17.03ha	8,148,000	3,880,000	0	0	4,268,000	H21.1.9	事業の実施により、圃場内の石等が除去されるとともに、大型機械による踏圧の解消、圃場の通気性及び保水性の改善が図られ、栽培環境を改善することができたが、目標までは達成することができなかった。	環境保全型農業に取り組む農業者の増加に係る成果目標については、おおむね達成されたものの、環境保全型農業に取り組む面積については、対象作物の変更等により目標を達成することができなかった。今後とも、目標達成に向け、関係機関への指導が必要である。
十勝	帯広市	帯広市川西農業協同組合	国産原材料供給円滑化対策	品質向上	【国産原材料供給円滑化対策(麦の乾燥調製体制の緊急整備)】 (品質の向上に関する目標) ・契約生産奨励金のAランクの評価数量の割合が事業開始年の前年(前5力年中3力年平均又は前3力年平均)の割合を上回る。	契約生産奨励金のAランクの評価数量の割合 100%	-	-	75.0%	100%	-25.0%	契約生産奨励金のAランクの評価数量の割合が25.0ポイント下がった。	小麦乾燥調製施設1棟 サイロ 9基 調製設備増設	2,798,250,000	1,332,500,000	0	0	1,465,750,000	H21.11.30	事業の実施により作付面積は目標値を上回った。春先から低温が続き生育は遅れて推移していたが、6月以降異常高温から極めて短期間に成熟が進み、収量・品質面共に平年を大幅に下回った。	新品種の作付けに係る目標は達成されたものの、22年度は夏期の異常高温により品質が低下し、品質に係る目標は達成することができなかった。今後とも、目標達成に向け関係機関の指導が必要である。
十勝	芽室町	芽室町農業協同組合	国産原材料供給円滑化対策(さやいんげん・えだまめ)	生産性向上	【野菜】(労働時間の削減に関する目標) ・インゲン・枝豆の10a当たり労働時間を70.6%削減	9.18hr/10a	2.725hr/10a	2.715hr/10a	2.737hr/10a	2.696hr/10a	99.4%	10a当たりの労働時間が70.1%削減した	荷受設備一式 排水処理設備一式 インゲン・枝豆収穫機 3台	276,675,000	108,250,000	0	0	168,425,000	H20.10.31		
十勝	鹿追町	鹿追町農業協同組合	国産原材料供給円滑化対策	品質向上	【国産原材料供給円滑化対策(麦の乾燥調製体制の緊急整備)】 (品質の向上に関する目標) ・契約生産奨励金のAランクの評価数量の割合が事業開始年の前年(前5力年中3力年平均又は前3力年平均)の割合を上回る。	契約生産奨励金のAランクの評価数量の割合 100%	100.0%	35.0%	8.3%	100%	-91.7%	契約生産奨励金のAランクの評価数量の割合が91.7ポイント下がった。	小麦乾燥施設 1棟 調製施設 1棟 サイロ 3基	1,617,000,000	770,000,000	0	0	847,000,000	H22.3.25	作付け面積は目標の1,627haを上回っているが、「きたほなみ」の作付け割合が36.36%に留まっている。「きたほなみ」の作付けが100%になった段階での評価となる(ホクシン収量の1.2倍と設定しているため)。また、昨年・一昨年と異常気象の影響により収量が極めて低く、更には品質の低下となっている。このような状況下では適正な評価は出来ない。	新品種の作付割合の増加に係る成果目標については達成されたものの、猛暑のため品質、量ともに大きく低下したことから、品質の評価数量に係る成果目標及び利用率の目標を達成することができなかった。今後とも目標達成に向け、関係機関への指導が必要である。
根室	中標津町	MIM機械利用組合	畑作物・地域特産物(ばれいしょ)	生産性向上	【畑作物・地域特産物(ばれいしょ)】 (労働時間の削減に関する目標) ・10a当たり労働時間を5%以上削減	14.16hr/10a	14.16hr/10a	9.68hr/10a	9.68hr/10a	9.68hr/10a	100.0%	10a当たりの労働時間が31.6%削減された	共同利用機械 ベッドフォーマ 1台 セレータ 1台 ポテプランター 1台	12,004,650	3,811,000	0	0	8,193,650	H21.7.31		